

理事長挨拶

今年度、第 20 回インテリジェントコスモス奨励賞を授賞されました 9 名の皆様、そして第 3 回インテリジェントコスモス東北文化奨励賞を受賞されました 1 名の皆様まことにおめでとうございます。皆様のご活躍を心よりお慶び申し上げます。

例年ならば、本財団のスポンサーであります東北 7 県からのご来賓を仰ぎ、皆様の授賞式とお披露目の昼食会を盛大に開催するところですが、今年度はやむを得ず Online による授賞式となりました。それにもかかわらず、ご参加いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。

感染症の蔓延のため世界中で続く異常な社会状態が、皆様の研究生活にも大きな影響を与えているのではないかと危惧しています。研究に必要と考えられている研究者間の直接のコミュニケーションが大きく制限され、こんな筈ではなかったと思い悩むときも多いのではないのでしょうか？一刻も早く通常の研究生活が可能の日が戻ることを祈ります。また、どうしても心が内側に向くこの期間を、研究のもうひとつの大切な側面である自己を確立するチャンスとかがえて、がんばるのもよいのではと思います。

平成元年バブルの頂点のころ、この東北の先見ある人たちが『東北インテリジェントコスモス』を誕生させました。発足時の統一見解では、『東北インテリジェントコスモス構想』とは、「東北地方がその歴史の中で培ってきた知力を結集し、21 世紀に向かって新しい調和を作り出すことである。」とあります。東北には、その文化とともに個性豊かな人物が多いことも特徴です。

この精神にのっとり、奨励賞は、「科学技術分野において優れた研究テーマを持つ有望な若手研究者および東北の産業支援に貢献する優れた研究技術の開発に」、また東北文化奨励賞は「東北が生み出した先見性のある文化を体系化して、内外に発信する優れた活動に対して」多くの応募者の中から選出された方々に授与されます。本日は直接受賞者の皆様からご自身の研究のお話が聞けますこと、関係者一同楽しみにしています。

受賞者の皆様のこれからの研究生活がますます充実したものでありますことを衷心よりお祈りして、私のご挨拶といたします。

令和 3 年 9 月 27 日

沢田康次

インテリジェントコスモス学術振興財団理事長